



MATAGI- SUMMIT : Japan Traditional Hunters Conference

第34回『ブナ林と狩人の会：マタギサミット in ただみ』

■ 6月24日(土) 講演会(サミット) 参加無料・申込不要

交流会 参加費 7,000円・要申込

※交流会への参加を希望される方は黒田までお申込み下さい。

■ 6月25日(日) 現地視察(田子倉・叶津地区) 参加無料・要申込

※詳細は裏面をご覧ください。

秋田県阿仁や山形県小国、長野県秋山郷など雪深い山々の猟師が集うマタギサミット。第34回を迎える今年にはユネスコエコパークに登録されている只見町で開催されます。本サミットでは自然と寄り添い山とともに生きる猟師たちの伝統継承や情報共有、原発事故後のジビエ出荷制限の解除などについて、様々な事例紹介や意見交換を行います。

講演会(サミット)は無料ですので、この機会にぜひご参加ください。

問い合わせ 実行委員会 黒田晶子 電話 090-8644-1102

メール iwana.a@nifty.com

主催 第34回『ブナ林と狩人の会：マタギサミット in 只見』実行委員会

(田口洋美(主宰幹事)・小松武志(秋田県北秋田市)・蛭原一平(山形県小国町))

福島県猟友会南会津支部有志

共催 只見町

後援 福島県、大日本猟友会、福島県猟友会

----- 25日 現地視察 申し込み用紙 -----

FAX 0241(84)2275 季の郷湯ら里宛

代表者氏名	
当日連絡のとれる携帯電話	
参加人数	

6/24(土) 講演会(サミット) 参加無料

会場: 季の郷 湯ら里 コンベンションホールゆきつばき Tel.0241(84)2888

14:00～ 開場受付

上映『昔の春熊猟』

15:00～17:00 サミット

只見町長あいさつ

① 講演 「旅マタギと只見町: 近世の中山間地イノベーション」

田口洋美(狩猟文化研究所代表『越後三面山人日記』など著書多数)

② パネルディスカッション「ジビエをめぐる現状と未来を語る」

遠藤春男(山形県小国町)「春熊猟の意義、熊祭りとお荷制限解除」

佐藤繁(長野県)「『信州ジビエ』ブランド開発」

小山抄子(福島県南会津町)「出荷制限と鹿革細工、鹿フェス開催」

19:00～20:00 交流会

6/25(日) 現地視察(田子倉・叶津地区) 参加無料・要申込

8:00 湯ら里集合

8:30～12:30 大型バスに猟師たちと一緒に分乗します

- ① 田子倉湖を見渡せる六十里越峠開道記念碑から山を眺めながら、参加者それぞれが山やブナ、動物の行動について会話を楽しみます。
- ② 江戸後期に秋田(阿仁)マタギの通行した記録が残る叶津番所で、旅マタギと只見のつながりを猟師たちと一緒に探ります。

※天候によって内容に変更があります。